

令和6年
2024年

12月17日
火曜日

第11618号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1
TEL03-3663-2011 FAX03-3663-2015

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



佐賀牛枝肉共励会が開催された……P5

注目のヘッドライン

大手豚肉サプライヤーインタビュー
ミヤチク船ヶ山祐二社長 ……詳細はP2～3

JPPA、11年ぶり発行の「養豚白書」
出版記念シンポジウム開催
一般社団法人日本養豚協会(JPPA、香川雅彦会長)は13日、東京都千代田区の主婦会館プラザエフで「養豚白書」出版記念シンポジウムを開催した。
……詳細はP3

- ▶ 大手豚肉サプライヤーインタビュー、ミヤチク船ヶ山祐二社長 …… P2～3
- ▶ JPPA、11年ぶり発行の「養豚白書」出版記念シンポジウム開催 …… P3
- ▶ 米国アーカンソー州で鳥インフルエンザ、家禽肉等輸入一時停止 …… P3
- ▶ 食中毒防止に向けた「肉用鶏の水準の向上等に関する検討会」開催—農水省 …… P4～5
- ▶ 佐賀牛枝肉共励会が南港市場で開催、最優秀賞は単価8202円で殖生ミートパッカー購買 …… P5
- ▶ 日本ハムがタイ最大の食品企業チャロン・ポカパン・フーズ社と包括的業務提携合意 …… P6
- ▶ 柿安本店2025年4月期第2四半期の業績は、2億6700万円減 …… P6
- ▶ 中央畜産会が、金沢市で令和6年能登半島地震支援金贈呈式開催 …… P6
- ▶ 中国で牛肉の規格策定(標準化)が進行 …… P7
- ▶ 12月の食品値上げは109品目、25年24年上回るペースか、TDB調査 …… P8
- ▶ 【輸入内臓相場現物相場】仕入れ一巡も堅調、鍋物商材の引き合い続く …… P8
- ▶ [資料]日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉 …… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]16日 …… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]16日 …… P11



食肉施設の設計・施工・コンサルタント

— 食肉業界をリードする —



〒110-0016 東京都台東区台東4-20-5
☎03-3834-1561(代) <https://hanaki-eng.co.jp/>

大手豚肉サプライヤーインタビュー ミヤチク船ヶ山祐二社長

為替の円安基調や国際情勢の変化に伴う飼料価格の高止まり、家計の節約志向の根強さなど、豚肉を取り巻く商環境は様変わりし、先行き不透明感が漂っている。こうした中、宮崎県で年35万頭強を処理する県内大手の系統食肉パッカー、ミヤチクの船ヶ山祐二社長に主力の豚肉事業に関する今後の重点施策など経営方針についてきいた。

—上期の肉豚事業の総括と経営環境について。

上期(4~9月)の処理実績は前年比6.5%増で、頭数では昨年を上回り順調でした。県のJAグループが手掛ける新農場の本稼働などこれまでの基盤対策の効果が現れましたが、販売面は非常に厳しく、とくに夏場は過去にない枝相場の高騰で収益確保に苦しみました。

私自身はこれまでJA宮崎経済連で畜産の業務に携わり、4月に現職に就きました。食肉会社の中で仕事をするのは初めてですが、外部にいた当時と比べ事業環境は様変わりし、その厳しさを目の当たりにしています。

特に足元の物価高や実質賃金の伸び悩みなどを背景に個人消費は節約志向を強め、鶏肉など安価な動物性タンパク質に食肉需要はシフトしています。上期の販売状況をみると普段使いの豚肉も今までの感覚では立ち行かなくなると危機感を抱いています。

—今後の市場環境の見通しと主な施策について教えてください。

下期の集荷頭数は前年並みの見込みですが、販売面では引き続き個人消費は弱く、市場環境の厳しさはさほど変わらないでしょう。基本的には、不良在庫を持たずチルドで早めに売り切っていくこと。得意先とは常に先々を見据えた早め早めの商談を重ね、川上の農家さんを含め経営の再生産が可能な適正価格での販売に注力したいと考えています。

中期的には販売リスクを抑えるため、相場に左右されない販売手法の確立も不可欠です。一つは3割を占める集荷先との帯価格取引の拡充に加え、消費者向けの直販事業を強化します。

特に、多いときで1日当たり1万パックの製造量を誇る宮崎市内の加工センターはふるさと納税の返礼品

を中心に今後も伸びしろが大きく、働き手さえいれば同事業はまだまだ拡大の余地があるとみています。

また、市場性の豊かな総菜など高度加工分野も有望だとみています。ただし本格的に自前でやるとなると現状の施設では限界があります。具体的な計画は未定ですが、投資額の多さや慢性的な人手不足など限られた経営資源を考えると、外部への製造委託は一つの考え方かもしれません。

一方、全国10カ所ある営業所の充実も欠かせません。実際、豚部分肉の販売では全体の6割が営業所経由で、強みとして末端のお客さままで細やかにモノを届けられる「足」があります。今後、時代に即して配置転換などの再編は必要かもしれませんが、チャンスがあれば手薄な首都圏など市場の伸びが期待される地域では新たな営業所の開設も視野に入れています。

—来期から中期3カ年計画が始まります。現在の課題と重点方針は。

春先の就任時に「攻めの農業に貢献する」との方針を掲げました。現状維持の守りだけでは事業は発展しませんし、会社は残りません。これからの時代に即した新たな事業体制や組織づくりは不可欠ですが、目線は高く、次のステップを見据えた考え方は常に意識しています。中計については管理部門などを中心に今後、計画を取りまとめていきますが、その大前提として、県内農家から「ミヤチクがあって良かった」と思われる「ウイズファーマーズ」の考え方は不変です。

足元の課題についてハード面でみれば、老朽化が進む高崎の本社工場とハム・ソーセージの製造を手掛ける都農町の加工センターの事業再編をどうするか。建築費の高騰が続く中、早い段階で今後の方向性を導きだしていく必要があります。次期中計では主力のテーマとして必ず盛り込み、議論の頭出しをしていかなければならないと考えています。



一方、経営はやはり“人”に尽きます。飲食や直売所など当社はグループ全体を含めると1千人近い人材を抱えています。近年は若者の仕事に対する価値観もさまざま、人材開発や教育システムを含め、これからの時代に合わせた新たな仕組みづくりが必要だと感じています。

一方、経営はやはり“人”に尽きます。飲食や直売所など当社はグループ全体を含めると1千人近い人材を抱えています。近年は若者の仕事に対する価値観もさまざま、人材開発や教育システムを含め、これからの時代に合わせた新たな仕組みづくりが必要だと感じています。

JPPA、11年ぶり発行の「養豚白書」出版記念シンポジウム開催

一般社団法人日本養豚協会(JPPA、香川雅彦会長)は13日、東京都千代田区の主婦会館プラザエフで「養豚白書」出版記念シンポジウムを開催した。香川雅彦会長(上写真)による冒頭あいさつに続き、養豚白書改訂委員会委員長を務めたJPPAの竹延哲治副会長(中写真)が登壇し、養豚白書改訂のポイントを主題とする講演が行われた。

講演では、はじめに過去10年の養豚産業の動向やJPPAの取り組みを説明。同協会は①豚マルキンの“牛並み”法制化②豚熱の感染拡大に対するワクチンの使用再開③生産者自らによる豚熱ワクチン接種の実現④格付規格改正で枝肉重量の上限3kgアップ⑤養豚大学の創設、10年間で約300人が修了—といった成果を残している。また、竹延副会長は、多様なニーズへの対応、バイオセキュリティの向上、飼料要求率の改善、ベンチマーキングによる生産性追求、輸入ポークに対する価格競争力アップ、チェックオフの促進など解説を交えつつ、養豚白書の要点を話した。

その後、「養豚産業の未来に向けて」をテーマとするパネルディスカッションが行われた。養豚白書改訂委員らを含み、パネラーとして参加したのは、(株)ファロスファームの社長でもある竹延副会長、クレストグループの栗木鋭三会長、(有)松村牧場の代表取締役でもある日本養豚事業協同組合の松村昌雄理事長、JPPAの理事でもある(有)石上ファームの石川貴泰常務、(有)柴畜産の柴香代子社長、公益社団法人日本食肉格付協会の大野高志会長—。まず、柴社長と石川常務が自社の経営や事業を踏まえ、養豚産業の今後を見据



えた展望などを語った。それに対して栗木会長、松村理事長、大野会長、竹延副会長が、豊富な経験に基づいて意見を述べるとともに、養豚産業の見通しをそれぞれ論じた。

米国アーカンソー州で鳥インフルエンザ、家禽肉等輸入一時停止

農水省動物検疫所はこのほど、米国アーカンソー州ラファイエット郡の家禽飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、同

郡から輸出される生きた家禽、家禽肉等については、11日から輸入を一時停止している。

食中毒防止に向けた「肉用鶏の水準の向上等に関する検討会」開催—農水省

一昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、会食の人数制限がなくなるなど、社会経済活動が平常化に向かう中、食中毒の発生状況にも注視していく必要がある。とくに、カンピロバクター食中毒の発生事案は増加傾向にあり、飲食店などで加熱不十分の鶏肉による食中毒が依然として発生するなど、これまで以上の対応が求められている。

カンピロバクター対策は、フードチェーン全体で取り組むべきものであるが、生産段階では、意欲ある肉用鶏の生産者が衛生管理に取り組むものの、カンピロバクターに対する効果的な対策は確立されていないため、日々の衛生管理の徹底が求められる。このような生産者の取り組みが社会に認識され、生産者の衛生対策の取り組みが持続可能なものとする環境を醸成していく必要もある。

こうした背景から、農水省ではこれまで、肉用鶏の水準の向上等に関する検討会を3回にわたって開催してきた。検討会では、①技術面の課題②社会の意識向上の面の課題③情報提供の面の課題—を論点とし、肉用鶏における管理水準のより一層の向上と、食中毒防止のための関係省庁協働による情報提供の強化について検討を重ね、議論してきた。

技術面については、フードチェーンにおける定量的データが重要で、調査の設計から調査データの利活用を含めた実証の調査体系を検討。カンピロバクターの有効な管理手法(低減対策)については、まずは菌

量を抑制できている事例収集など、現時点で望ましい管理手法の明確化に着手する。

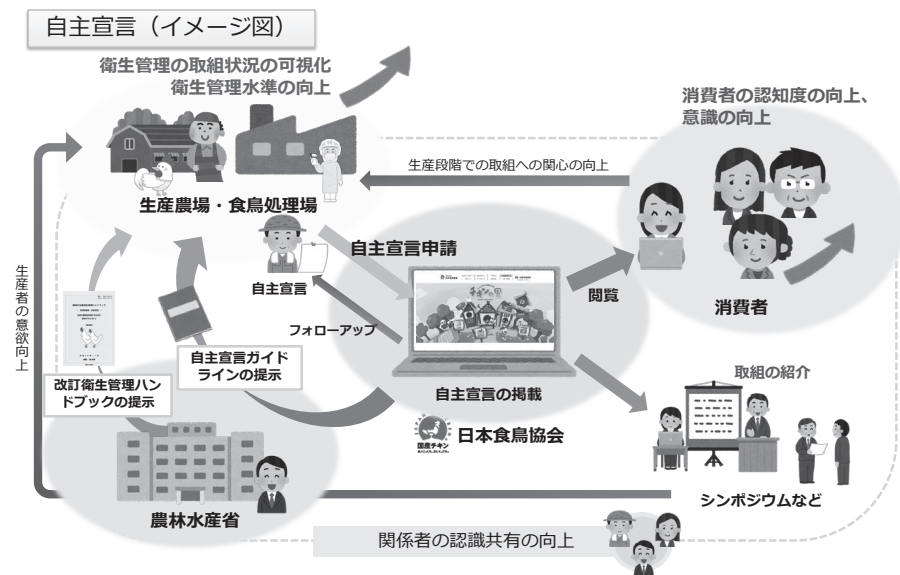
社会の意識向上の面については、フードチェーンにおいて、科学的知見に基づき、生産者などによる自主衛生管理を推進し、食品安全に関する社会の意識の向上につなげることが重要とし、カンピロバクター低減対策については、現時点、生産者や関係事業者などが自らの取り組みを社会へ発信する手法(自主宣言)による自主的な取り組みを促す仕組みが適当である。

自主宣言の運用にあたっては、基本的な枠組み(自主宣言の運用主体、対象者、ルールなど)や要件(ガイドライン等)の検討が必要である。運用主体は、肉用鶏の生産現場、食鳥処理場および関連企業による自主的な取り組みの促進を目的とすることから一般社団法人日本食鳥協会を想定し、当面はガイドライン、運用ルールなどの作成およびポータルサイトの立ち上げを行った上で、運用後は申請者の自主宣言の公表手続きなど、フォローアップ対応を進める。まずは、肉用鶏の生産農場および食鳥処理場、関連企業を対象とする。

このうち、生産段階での自主宣言は、衛生管理項目を複数提示し、生産者等が各自で取組める項目を選択(複数選択可)の上、項目に則した具体的な取組内容を宣言。現時点での衛生管理項目については、農水省が作成している「鶏肉の生産衛生管理ハンド

ブック」を基に選定していく。なお、ハンドブックについては、諸外国や国内の最新の知見を反映して改訂予定だ。食鳥処理場における自主宣言では、HACCPに基づく衛生管理が適切に行われていること、処理された鶏肉などが「加熱用」として確実に情報を伝達していることのほか、具体的な事項を検討している。

「自主宣言に取り組む企業のメリットが必要では」という意見がある中、消費者庁が推



進する「消費者志向自主宣言」(消費者志向経営に賛同し、その実現に向けた企業の方針を表明するもの)に取り組む企業のヒアリングによると、「従業員の意識・モチベーションの向上」「自社の取り組みを社外に紹介できる」「他社とのコミュニティ形成への貢献」「自社のレピュテーションの向上」など、有効的な面も多いとされている。また、会議では、熊本県が生産者向けに行った自主宣言に対するヒアリングの結果が報告され、「より安全性を確保する手法としては優良である」「社会的な発信としてブランド力向上につながる」という前向きな声も上がっている。

情報提供の面では、食中毒を防止するため、さらな

る情報提供と情報に基づく行動変容を促す取り組みが必要。両者とも、業界と行政の協働による対応が重要である。SNSなどによるホームページへの誘導、業界と行政が協働した啓発の取り組みを検討していく。このほか、デザイン力を借りて、幅広い世代、母国語の人たちに対し、わかりやすい情報発信や一目で理解して正しく行動することができる表示方法「ピクトグラム」の活用も検討しており、デザインなどを業界団体等のホームページにも掲載し、事業者が容器包装に利用できるよう目指す。

今後検討会では、今年度中の中間とりまとめに向け、議論を進めていく。

佐賀牛枝共が南港市場で開催 最優秀賞は単価 8202 円で殖生ミートパッカー購買

佐賀県農業協同組合が主催する佐賀牛40周年記念第82回佐賀牛枝肉共励会が13日、大阪市中央卸売市場南港市場で開催された。県内から厳選された48頭(雌7頭、去勢41頭)が出品され、厳正なる審査の結果、中山牧場(株)が栄えある最優秀賞を獲得。枝肉競りでは殖生ミートパッカー(株)がキロ当たり8202円の最高値で購入した。

九州有数のブランド銘柄牛である「佐賀牛」は、1984年に誕生してから今年で40周年の節目を迎える。美しい発色ときめ細かなサシが入った肉質は、域内外に広く認知され、高い評価を得ている。今回、出品された枝肉も、5等級比率は95.8%と、年末商戦に合わせて生産者が丹精込めて育てた非常に質の高い枝肉が揃った。

その中で最優秀賞に輝いた中山牧場の枝肉は30カ月齢の去勢牛で、父「福乃姫」、2代祖「安福久」、3代祖「第1花園」の血統。枝肉重量619・2kg、ロース芯面積91cm²、バラの厚さ9・9cmの質量兼備した堂々たる枝肉で、BMSNo.12のA5等級に格付された。

生産者の中山牧場は、佐賀県東松浦郡玄海町で肥育牛1800頭を飼養するほか、佐賀県と石垣島で繁殖事業に取り組むなど、先進的な畜産経営を行っ



ている。中山駿取締役(写真)は((素牛導入の時点から)これだという気持ちで選んだ牛。牧場にいる時から、仕上がりはかなり良いと思っていた。驚くほどの値段で買っていただき、本当に励みになる。お肉屋さんが求める牛を自分たちも作っていかないといけない。また、今回は、入賞牛以外も素晴らしい枝肉が揃っていて、全体的な値段もかなり高く評価していただいたことが嬉しい。佐賀牛を生産する農家間で牛舎を行き来したりして、日頃から情報交換や勉強会を行っているの、そうした成果が出たのではないかと思う」と喜びを語った。

実際に、枝肉競りでは、最優秀賞牛を殖生ミートパッカーが8202円で購買したほか、その他の牛についても高値落札が頻発。生産・小売ともに厳しい状況が続く中、年末商戦に向けて買参者による非常に活発な競りが行われた。

最優秀賞以外の入賞牛の結果は以下のとおり。

金賞1席(生産者=原田洋平、4千円、購買者=ゆたかフード)、2席(栗添和明、3002円、殖生ミートパッカー)▽銀賞1席(前田順司、3005円、同)、2席(株タラファーム伊万里牧場、3002円、NEXUS MEAT)

日本ハムがタイ最大の食品企業チャロン・ポカパン・フーズ社と 包括的業務提携合意

日本ハムは、アジア有数の大手総合食品企業の一つである Charoen Pokphand Foods Public Company Limited (チャロン・ポカパン・フーズ社、本社: Bangkok, Thailand、CEO: Prasit Boondoungprasert、以下「CPF」) と、ニッポンハムグループおよびCPF双方の企業価値向上および協力関係強化のために戦略的業務提携の合意に至り、Comprehensive Strategic Partnership Agreement (以下「包括的業務提携契約」) を締結した。

CPFは、タイ最大の食品企業であり、環境および社会への責務を果たす高品質な製品を提供することを目的として、アジア各国において農工業および食品事業を展開している。日本国内大手総合食品会社の中でもトップクラスの食肉および加工食品事業を手がける日本ハムと、アジアにおける強固な経営資源やネットワーク、ノウハウなどを有するCPFとで双方の強みを生かし、アジア地域における食品事業のさらなる発展を目指す。

日本ハムとCPFとの合意内容は以下のとおり。

[タイ・日本・シンガポール・香港などを中心としたアジア地域における加工食品分野での共同取り組み機会の開拓]①タイにおける原材料の共同調達・加

工食品の共同開発 ②日本ハムの子会社でありタイにおいて加工食品を製造するタイ日本フーズ (以下「TNF」) 製品の、アジアにおけるCPF販売チャンネルへの展開 ③日本ハム製造の加工食品を日本から輸出し、タイ・シンガポール・香港などで販売 ④CPFの加工食品をタイから輸入し、日本で販売

[中国における、牛肉の販売ならびに牛肉加工食品の開発・製造における共同取り組みの推進]共創と挑戦でたんばく質の新たな価値創造に取り組む日本ハムは、畜産加工食品分野を強みとするCPFとの業務提携により、相互の強みを生かしアジアを中心とした海外での畜産加工食品分野ビジネスを強く推進していく。

CPFの会社概要は次のとおり。

名称 Charoen Pokphand Foods Public Company Limited▽所在地 タイ、バンコック市 (タイ証券取引所上場)▽代表者 Prasit Boondoungprasert (President and CEO)▽事業内容 畜産動物飼料の生産、畜産動物の繁殖・飼育、畜産と水産養殖の食品加工を含む総合農工業および食品事業▽資本金 84億1357万バーツ (約382億円相当)▽設立年 1978年▽URL <https://www.cpfworldwide.com/en/home>

柿安本店 2025年4月期第2四半期の業績は、2億6700万円減

(株)柿安本店(三重県桑名市、赤塚保正社長)は16日、2025年4月期第2四半期の業績および通期業績を発表。売上高168億800万円(前年同期比3・4%減)、営業利益3億4300万円(43・8%減)、経常利益3億6100万円(42・2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億7700万円(50・4%減)となった。

赤塚保正社長(写真)は「全社ベースでみると出店先の都合による閉店や、レストランの売上のパイが小さくなり減益が目立つ形となったが、今後は年末年始商戦を中心に既存店ベースで増収増益に持っていきたい。外食事業としては、既存の店舗のブラッシュアップを図り、次のステップに踏み出していきたいと考えて

いる。当社の生命線は2つある。1つは商品開発力、そしてもう1つは人材開発力である。その考えのもと、商品開発、人材力に力を入れ、お客さまが持っている『柿安らしさ』、専門店であると言う事、そして匠の技を持って価値を提供できることを活性化し、より訴求していきたい」と述べた。



中央畜産会が、金沢市で令和6年能登半島地震支援金贈呈式開催

公益(社)中央畜産会(森山裕会長、写真左)は14日、金沢市のホテル日航金沢において、令和6年能登半島地震支援金贈呈式を行った。

中央畜産会は今年8月から全国の畜産関係者へ支援を募り、会員98団体、畜産関係団体54、個人116名からの支援金の総額は2億4400万円余りにのぼった。中央畜産会から石川県畜産協会に、この支援金を贈呈した。

贈呈式には、公益(社)石川県畜産協会西沢耕一会長(写真右)、石川県農林水産部吉田健ともぶ一部長、農林水産省北陸農政局遠藤知庸局長ら、19人の関係者が出席した。

森山会長から石川県畜産協会西沢会長へ目録が手渡され、森山会長は「地震発生から1年近くが経過するが、家屋、道路、ライフライン等が甚大な被害を受け、今もなお厳しい状況であると聞いている。この支援金が少しでも畜産農家の復興に役立てば幸いであ



る」とあいさつ。

西沢会長からは「中央畜産会ははじめ、全国の皆様からこのような支援をいただき、大変感謝している。被災地は未だに厳しい状況にあるが、行政の指導を受けながら、この支援金を被災した畜産農家にお届けし、これを励みに、関係者一丸となって復興に努めていきたい」と謝辞を述べた。

中国で牛肉の規格策定(標準化)が進行

中国では牛肉の消費量の伸張に伴い、食品としての安全性が疑われる事案が増えている。このような状況に対し、中国農業農村部など関係行政機関は今年「肉類製品の違法犯罪特化取締りプロジェクト」を実施、また、牛肉関係業界では品質向上などを目指した牛肉規格の策定などが進められている。品質向上に向けた代表的な動きとして、今年10月13日に発足した「中国アンガス牛肉産業連盟」を紹介する。

①連盟の概要 中国では、農業農村部の主導により、特定の産品・産業に関する技術の向上を目的として専門家がプロジェクトを組み、全国各地に設置された試験拠点で研究開発を行う取り組みが行われている。今回、そのうち「肉牛・ヤク」を対象とするプロジェクトチームを中心に、中国農業科学院北京畜牧兽医研究所、新疆畜牧科学院畜牧研究所、吉林农业大学動物生産および商品品質安全教育部重点実験室、内モンゴル肉乳産業協会などが、本連盟を発足させた。発足式には、各構成者の代表のほか、農業農村部畜牧兽医局畜牧室室長、中国畜産業協会副秘書長、中国

肉類協会副会長、華西牛育種連合会理事長など150人あまりが参加した。

②発足の目的 本連盟は、中国政府が2019年から進める「重要農産品の保障戦略を実施することに関する指導意見」およびこれを受けて20年に発出された「國務院弁公庁発、畜牧業の高品質発展に向けた意見」を実現し、中国国内で流通するアンガス牛肉の品質向上、関連産業の標準化、デジタル化および環境保護の進展を図ることを目的に設置された。

「肉牛・ヤク」プロジェクト(国家肉牛・ヤク産業技術体系)チーム首席科学者であり、連盟の初代理事長に選ばれた曹兵海教授は、連盟の役割について、中国肉牛産業の標準化および産業としての進化を図る革新的な役割を果たすことであると宣言した。また、連盟は今後、中国独自のアンガス牛品種系統認証制度の新設、アンガス牛の国産化に向けた育種選抜の実現、中国産アンガス牛のブランド化、ひいては中国産の肉牛の世界市場における競争力の向上を目指すとして発言した。(農畜産業振興機構)

12月の食品値上げは109品目、25年は前年上回るペースか TDB「食品主要195社」価格改定動向調査

帝国データバンク(TDB)はこのほど、「食品主要195社」価格改定動向調査(2024年12月/2025)を公表。12月および2025年以降における食品の値上げ動向と展望・見通しについて、分析を行った。

それによると、主要な食品メーカー195社における、家庭用を中心とした飲食料品の値上げは、24年12月では109品目となり、年内で最も少ない水準だった。食品分野別にみるとパックごはんを中心に「加工食品」(91品目)が最多だった。

24年通年の値上げ品目数は累計で1万2520品目となり、年間の平均値上げ率は17%となった。10月は年内最大となる約2900品目の値上げが実施されたが、年間を通じて値上げは抑制された状態が続き、前年比6割減の水準となった。

25年の値上げ見通しは3933品目となり、前年同時期に公表した24年の値上げ品目見通し(1596品目)を大幅に上回った。25年1月には1年半ぶりとなるパ

ン製品の一斉値上げに伴い、単月として3カ月ぶりに1千品目超の値上げが見込まれ、来春にかけて断続的な値上げラッシュが再燃すると見ている。25年は、1月以外にも2月・4月では今年11月末時点ですでに900品目超の値上げが予定されており、ともに単月で1千品目を超える可能性が高いとみている。

TDBは25年の値上げ要因として、「24年に続き」原材料高”(94.6%)などモノ由来の要因が多数を占める一方で、サービス面のコスト上昇を要因とした値上げ傾向が顕著にみられたという。なかでも、トラックドライバーの時間外労働規制などが要因となった輸送コストの上昇分を価格へ転嫁する”物流費”由来の値上げは89.9%を占め、”原材料高”との差は4.7ポイントに縮小した。”人件費”は47.9%と24年通年(26.5%)から大幅に上昇し、最低賃金引き上げなどの影響を受けた賃上げを要因とする姿勢も目立った”としている。

【輸入内臓相場現物相場】仕入れ一巡も堅調、鍋物商材の引き合い続く

年末の商戦に向けて堅調な引き合いは続いている。

ただ、ロットの大きなものは、すでに商談が固まっており、大半は紐づいている状況で大きな動きはなく、外食店などへの動きが中心となっている。大規模の宴会需要などは減っているが、それでも忘年会シーズン真っただ中ということで、白物の動きは良好化している。

焼き材も年始までの売り場の中で、高単価商材を売り込みたい、店舗の思惑からタンやアウトサイドスカートの引き合いも良好化している。もともと、在庫水準が高くはないことから、需給は締まっている。全体的に年末までは大きな動きはないがギリ上げが続くか。

【輸入副生物現物相場】

単位:円/キロ、税抜き

	商品名	原産地	規格	価格	気配
フ ロ ー ズ ン	牛タン	米国		2200~2600	↑
		豪州	グラス	2200~2600	↑
		欧州	グラス	2000~2300	↑
	ハンギングテンダー(サガリ)	米国	チョイス プライム	1800~	↑
		メキシコ		1600~1800	→
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス プライム	2800~3000	→
		メキシコ		-	→
	シンスカート、シックスカート	豪州	バルク	~1150	↓
	シンスカート(皮なし)	豪州		1500~	↓
	レバー	豪州		320~	-
		米国		350~	→
	トライブ			1.5UP	-
				700gUP	-
		豪州		500gUP	-
	スモール	米国		500	↑
ラーズ	米国		620~690	↑	
	豪州		680~700	↑	
アキレス	米国		1200	↑	
テール	豪州		1400~1600	↑	
メンブレン	豪州		600~	↑	
チ ル ド	牛タン	米国		2600~3000	↑
		豪州	グレイン	2400~2900	↑
	牛タン(ムキタン)	米国		4300~5000	↑
		豪州		-	→
	ハンギングテンダー(サガリ)	米国	チョイス プライム	1800~2200	↑
				2200~2500	↑
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス プライム	2800~3200	↑
				3600~	-
	メキシコ		-	→	

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和6年11月24日～11月30日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量kg)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
		和牛チルド「4等級」	首都圏	カタロース	4,104	4,567	4,914	4,496	5,748	3,599	4,050	4,590
カタ	3,618			3,888	3,964	3,820	9,662	3,240	3,671	3,785	3,655	7,933
カタバラ	2,268			2,364	3,240	2,503	4,987	2,230	2,365	2,725	2,447	1,540
マエセット	-			-	-	-	632	-	-	-	-	-
ヒレ	9,145			10,044	11,759	10,065	1,562	9,180	9,600	10,260	9,602	2,126
ロイン	5,616			6,334	6,334	6,127	3,445	5,184	5,400	5,832	5,416	4,863
ロインセット	5,942			6,264	6,415	6,124	3,049	-	-	-	-	-
トモバラ	1,728			2,129	2,621	2,152	9,767	1,866	2,179	3,302	2,427	9,760
ウチモモ	4,050			4,318	4,857	4,363	2,814	3,674	4,104	4,104	4,046	1,880
シントマ	3,888			4,212	4,474	4,190	3,387	3,884	4,104	4,104	4,061	1,999
ランイチ	4,104			4,212	4,644	4,302	2,856	3,901	4,104	4,104	4,053	1,969
ソトモモ	3,240			4,050	4,428	3,913	3,121	3,523	3,673	3,849	3,684	1,146
スネ	1,862			1,990	2,155	1,965	2,964	1,944	2,017	2,160	2,024	2,959
モモセット	3,838			4,050	4,249	4,085	18,109	3,332	3,666	3,834	3,629	11,703
セット	3,618	4,049	4,739	4,095	38,327	3,348	3,672	4,187	3,651	20,256		
重量合計					110,430					62,326		
和牛チルド「4等級」	中京圏	カタロース	3,456	3,510	3,888	3,578	1,183	3,564	3,942	4,536	3,948	1,237
		カタ	3,456	3,456	3,672	3,536	1,483	3,024	3,348	3,780	3,431	1,085
		カタバラ	2,581	2,744	3,348	2,790	1,941	-	-	-	-	358
		ヒレ	-	-	-	-	529	-	-	-	-	309
		ロイン	-	-	-	-	567	-	-	-	-	456
		トモバラ	1,512	1,728	2,142	1,750	1,766	1,728	1,836	4,126	2,357	1,354
		ウチモモ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	464
		シントマ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	410
		ランイチ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	369
		ソトモモ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	598
		スネ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	550
		モモセット	-	-	-	-	870	-	-	-	-	-
		セット	3,634	3,634	3,634	3,634	4,199	3,510	3,996	4,175	3,842	7,873
		重量合計					12,538					15,063

(令和6年11月24日～11月30日)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
		交雑牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,949	3,030	3,456	3,132	10,751	2,916	3,070	3,348
カタ	2,160			2,866	2,894	2,657	10,714	2,385	2,484	2,700	2,497	9,471
カタバラ	2,173			2,486	2,922	2,576	3,724	1,404	1,483	2,138	1,544	3,060
ヒレ	5,648			6,156	6,480	6,130	2,977	6,264	6,696	6,804	6,606	2,946
ロイン	4,266			4,484	4,667	4,506	3,120	4,179	4,492	4,698	4,450	4,809
トモバラ	1,404			2,484	2,981	2,236	12,278	1,458	1,612	2,376	1,663	9,089
ウチモモ	2,446			2,538	2,700	2,561	4,139	2,376	2,459	2,542	2,449	3,951
シントマ	2,484			2,592	2,862	2,624	4,387	2,376	2,592	2,705	2,581	4,097
ランイチ	2,479			2,592	2,759	2,590	3,290	2,484	2,589	2,611	2,559	4,544
ソトモモ	2,138			2,214	2,364	2,240	2,826	2,160	2,283	2,443	2,291	4,130
スネ	1,512			1,566	1,642	1,575	3,755	1,512	1,596	1,615	1,575	6,450
モモセット	-			-	-	-	-	2,160	2,484	2,540	2,377	9,734
セット	2,614			2,780	3,200	2,818	36,744	3,024	3,164	3,240	3,130	51,795
重量合計							98,705					124,382

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
		乳牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,858	2,916	2,995	2,926	7,606	2,312	2,482	2,554
カタ	1,566			1,726	1,968	1,800	1,382	1,615	1,615	1,909	1,702	6,855
カタバラ	-			-	-	-	89	-	-	-	-	-
三角バラ	-			-	-	-	-	2,608	2,754	3,456	2,906	1,044
ブリスケット	-			-	-	-	-	1,080	1,150	1,274	1,172	5,141
ヒレ	4,951			5,184	5,400	5,159	1,838	4,860	4,876	5,940	5,175	2,448
ロイン	3,190			3,294	3,456	3,312	1,016	2,966	3,078	3,240	3,078	10,343
トモバラ	1,242			2,312	2,697	2,259	5,309	1,134	1,171	2,711	1,409	6,877
ウチモモ	1,944			2,262	2,267	2,174	2,384	1,890	1,922	2,052	1,936	6,762
シントマ	1,970			2,160	2,160	2,104	1,260	1,598	1,728	1,836	1,720	3,604
ランイチ	1,944			1,970	2,293	2,077	2,480	1,620	1,836	1,944	1,838	3,662
ソトモモ	1,836			1,890	1,947	1,881	1,252	1,696	1,836	1,944	1,824	2,854
スネ	1,466			1,470	1,512	1,487	2,333	1,404	1,458	1,544	1,472	5,275
セット	2,411			2,411	2,538	2,425	11,129	1,781	1,967	2,041	1,927	29,234
重量合計				合計	38,078				合計	98,054		

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 12月16日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	8,650	3,198	-	-	-
		安値	2,486	2,411	-	-	-
		平均	3,460	2,672	2,390	-	-
		頭数	189	25	1	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	3,244	2,727	-	-	-
		頭数	1	1	-	-	-
	去 A	高値	3,315	2,563	2,422	-	-
		安値	2,470	2,486	2,269	-	-
		平均	2,768	2,525	2,352	-	-
		頭数	43	12	3	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,849	1,727	1,577	-
		頭数	-	2	5	3	-
	雌 C	平均	-	-	1,611	-	-
		頭数	-	-	2	-	-
	去 B	平均	-	1,946	1,789	1,648	-
		頭数	-	1	2	1	-
去 C	平均	-	1,746	-	-	-	
頭数	-	1	-	-	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	430 350	963 777	- 286.0	(競り)	(相対)	
				-	12	54

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	3,355	1,928	1,578	1,361	-
	B	-	1,771	1,368	1,194	923
和 去	A	2,799	2,484	2,306	-	-
	B	-	2,351	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	832	791
	C	-	-	-	835	784
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	2,067	1,857	1,695	1,535	-
	C	-	-	1,566	1,463	761
交 去	B	-	1,837	1,752	1,573	-
	C	-	-	1,541	1,498	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	692	907	918	934	896
	安値	654	616	583	443	324
	平均	682	660	643	625	490
	頭数	(5)	(286)	(218)	(159)	(109)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	-	678	656	592
	安値	-	-	673	634	580
	平均	-	700	676	645	583
	頭数	(-)	(1)	(3)	(4)	(4)

[大阪食肉卸売市場] 12月16日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,888	2,496	2,284	-	-
(頭数)	(4)	(8)	(2)	(-)	(-)
B	-	2,376	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(2)	(1)
和 去 A	2,741	2,465	-	-	-
(頭数)	(7)	(2)	(-)	(-)	(-)
B	-	2,321	-	-	-
(頭数)	(-)	(2)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,953	1,697	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,949	1,742	1,616	-
C	-	1,880	1,707	1,564	-
豚	-	547	513	416	476

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	12月16日	12月13日	(12月累計)
豚	67,100	70,500	761,200
成牛計	5,600	5,620	61,010
和牛雌	1,380	1,320	15,050
和牛去勢	1,700	1,400	18,100
乳牛雌	340	940	7,610
乳牛去勢	590	410	5,860
交雑雌	660	800	6,650
交雑去	930	740	7,630

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 12月16日

東京	1,692円	(前日 1,692円)
大阪	1,655円	(前日 1,632円)

[豚・全農建値] 12月16日

上	中	取引頭数	市況
658円	635円	1,328頭	急伸

と畜 売買	牛 144頭 牛 80頭	豚 195頭 豚 309頭	牛概況 強もちあい 豚概況 上伸
----------	-----------------	------------------	---------------------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 12月16日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	626 (626)	- (-)	6,089	-	もちあい
仙台 [中]	623 (657)	570 (603)	407	126	反落
宇都宮 [地]	- (646)	564 (616)	1,913	84	-
茨城 [地]	645 (663)	626 (638)	1,527	660	続落
群馬 [地]	667 (648)	596 (554)	2,356	297	反発
さいたま [中]	662 (632)	636 (609)	271	268	反発
東京 [中]	660 (640)	643 (600)	963	777	上伸
横浜 [中]	653 (651)	626 (626)	660	665	もちあい
山梨 [地]	- (-)	- (-)	126	55	休市
浜松 [地]	636 (646)	590 (578)	342	36	下押し
名古屋 [中]	653 (667)	596 (602)	934	245	下押し
京都 [中]	638 (663)	600 (641)	99	93	もちあい
大阪 [中]	547 (532)	513 (523)	195	270	上伸
神戸 [中]	- (645)	- (635)	156	-	上場なし
岡山 [地]	633 (658)	643 (666)	368	395	下押し
広島 [中]	613 (-)	577 (-)	241	99	反落
福岡 [中]	622 (638)	596 (591)	593	136	続落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。宇都宮、横浜、京都の前日は14日。

[日本食肉流通センター] 12月9日～12月15日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

[食鳥正肉日経相場] 12月13日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇首都圏 総重量 1,608,268 kg

◇東京 (7社)

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,188	1,269	1,361	1,283	73,187
うで	739	781	845	785	137,335
ロース	1,079	1,223	1,266	1,197	143,498
ばら	1,285	1,350	1,412	1,345	168,722
もも	737	756	802	766	211,710
ヒレ	1,079	1,182	1,267	1,174	11,057
セット	1,001	1,029	1,062	1,031	862,759

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	681	727	835	159
ムネ	366	401	503	138

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	683	746	1,010	10
ムネ	380	432	570	6

◇近畿圏 総重量 768,508 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,210	1,328	1,381	1,308	61,629
うで	720	751	810	754	116,713
ロース	1,091	1,199	1,255	1,187	101,974
ばら	1,197	1,300	1,415	1,318	134,116
もも	706	727	787	731	175,120
ヒレ	1,134	1,194	1,296	1,201	12,901
セット	942	972	1,061	997	166,055

[農水省統計情報部食鳥市況] 12月13日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	978	618	550	600	650
安値	707	383	290	360	350
平均	744	417			

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 470頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

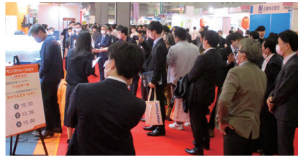
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、B5判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男 著
鏡 晃

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■知識を豊かにする

食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1

TEL 03(3663)2011 FAX 03(3663)2015

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995